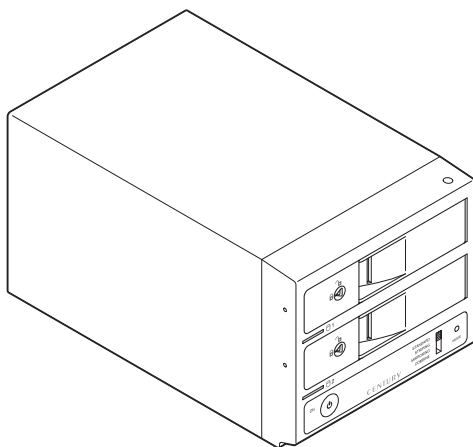


裸族の二世帯住宅SATA6G USB3.0 & eSATA

CRNS35EU3S6G

取扱説明書



【はじめに】

このたびはCRNS35EU3S6Gをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前に本説明書を必ずお読みください。

【安全上のご注意】 <必ず守っていただくようお願いいたします>

- ご使用前に、安全上のご注意をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- この項に記載しております注意事項、警告表示には、使用者や第三者への肉体的危害や財産への損害を未然に防ぐ内容を含んでおりますので、必ずご理解の上、守っていただくようお願いいたします。

■次の表示区分に関しましては、表示内容を守らなかった場合に生じる危害、または損害程度を表します。



警告

この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性を想定した内容を示します。



注意

この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害ないし物的損害を負う可能性を想定した内容を示します。

⚠ 警告

■煙が出る、異臭がする、異音ができる

煙が出る、異臭がする、異音ができるときはすぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■機器の分解、改造をしない

機器の分解、改造をすることは火災や感電の原因となります。
点検及び修理は、お買い上げの販売店へ依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■機器の内部に異物や水を入れない

筐体のすきまから内部に異物や水が入った場合は、すぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■湿度の高い場所、水気のある場所では使用しない

台所や風呂場など、湿度の高い場所、水気のある場所では使用しないでください。感電や機器の故障、火災の原因となります。

■不安定な場所に機器を置かない

ぐらついた台の上や傾いた場所、不安定な場所に機器を置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。そのまま使用されると火災の原因になる可能性があります。

■電源の指定許容範囲を守る

機器指定の電圧許容範囲を必ず守ってください。定格を越えた電圧での使用は火災や感電、故障の原因となります。

■電源コード、接続コードの取扱いについて

電源コード、接続コードの上には機器本体や重い物を置いたり、釘等で固定すると傷ついて芯線の露出や断線等による火災や感電の原因になったり、機器の故障につながりますので必ず避けてください。また、足を引っかけるおそれのある位置等には設置しないでください。

■雷が鳴り出したら電源コードに触れない

感電したり火災の原因となります。

■ぬれた手で機器に触れない

ぬれたままの手で機器に触れないでください。感電や故障の原因になります。

⚠ 注意

■設置場所に関する注意事項

以下のような場所に置くと火災や感電、または故障の原因となります。

- 台所、ガスレンジ、フライヤーの近くなど油煙が付きやすいところ
- 浴室、温室、台所など、湿度の高いところ、雨や水しぶきがかかるところ
- 常に5℃以下になる低温なところや40℃以上の高温になるところ
- 火花があたるところや、高温の熱源、炎が近いところ
- 有機溶剤を使用しているところ、腐食性ガスのあるところ、潮風があたるところ
- 金属粉、研削材、小麦粉、化学調味料、紙屑、木材チップ、セメントなどの粉塵、ほこりが多いところ
- 機械加工工場など切削油または研削油が立ち込めるところ
- 食品工場、調理場など、油、酢、揮発したアルコールが立ち込めるところ
- 直射日光のあたるところ

■長期間使用しない場合は接続コードを外してください

長期間使用しない場合は接続コードを外して保管してください。

■機器を移動するときは接続コード類をすべて外してください

移動する際は必ず接続コードを外して行ってください。接続したままの移動はコードの断線等の原因となります。

■小さいお子様を近づけない

お子様が機器に乗ったりしないよう、ご注意ください。怪我等の原因になることがあります。

■静電気を与えないでください

本製品は精密電子機器ですので、静電気を与えると誤動作や故障の原因となります。

■もくじ

■はじめに	i
■安全上のご注意	i
■制限事項	1
■ご使用前に	1
■製品仕様	2
■製品内容	2
■各部の名称	2
■対応HDD	3
■対応OS	3
■対応機種	4
■HDDの組み込み方法	5
■PCとの接続方法	9
■電源の投入方法	10
■使用方法	11
■電源連動機能について	13
■モードの設定・変更方法	14
■ディスクの故障とリビルド	21
■領域の確保とフォーマット	23
• Windows 8、Windows 7、Windows Vistaの場合	23
• Windows XPの場合	29
■ハードウェアの取り外しについて	35
■Macでの使用方法	37
■トラブルシューティング	39
■FAQ	43

裸族坊やセンちゃんからのお願い

裸族シリーズは、内蔵用HDDをケースに入れず、むき出し＝裸のまま手軽に使用することを想定して作られています。

しかし、内蔵用HDDは本来とてもデリケートな精密機器です。特に静電気やほこりに弱いので、必ず静電気の除去作業を行ってからHDDを取り扱うようお願いいたします。

また、HDDを保管する時は高温多湿を避け、静電防止袋等をご使用の上、大切に保管していただくようお願いいたします。

デリケートな
裸族を
守るのう!



【制限事項】

- 本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、など人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。このような環境下での使用に関しては一切の責任を負いません。
- ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは誤動作することがあります。必ず離してご使用ください。
- 本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内での使用を前提としており、日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。
- 本製品はSATA HDD専用です。パラレルATA（IDE）HDDは使用できません。

【ご使用前に】

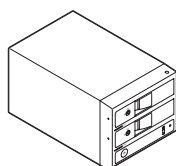
- 本書の内容に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容に関しましては、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきのことがありましたら、弊社サポートセンターまでご連絡いただきますようお願いいたします。
- 本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- Windowsは Microsoft Corporation の登録商標です。
- Macは Apple Inc. の登録商標です。
- 記載の各商品、および製品、社名は各社の商標ならびに登録商標です。
- イラストと実際の商品とは異なる場合があります。
- 改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。

【製品仕様】

- 商 品 名：裸族の二世帯住宅SATA6G USB3.0 & eSATA
- 型 番：CRNS35EU3S6G
- インターフェイス：[デバイス側]SATA I / II / 3.0 / 1.5Gbps / 3.0Gbps / 6Gbps
[ホスト側]eSATA 3.0 / 6Gbps、USB3.0 / 2.0
- 冷却ファン仕様：7cm角 2,000rpm ±10% ノイズレベル19.2dB
(冷却ファン単体での計測値)
- 寸 法：幅130mm × 高さ115mm × 奥行210mm (突起部除く)
(ドアオープン時:310mm)
- 重 量：約1,900g (ドライブ含まず)
- 温 度 / 湿 度：温度5~35℃ / 湿度20~80%
(結露しないこと、接続するPCの動作範囲内であること)
- 電 源 仕 様：[AC入力]100V~240V [DC出力]80W

【製品内容】

- CRNS35EU3S6G 本体
- 専用USB3.0ケーブル
Standard A-Standard Bタイプ
- 専用eSATAケーブル
- 専用ACケーブル
- ドアロックキー
- 取扱説明書/保証書



CRNS35EU3S6G 本体



専用USB3.0ケーブル



専用eSATAケーブル

注意！

- ※内蔵するHDDは別途でご用意ください。
- ※付属のドアロックキーは本製品すべてに共通のものとなっており、セキュリティとしては非常に脆弱なものです。十分ご注意ください。



ドアロックキー



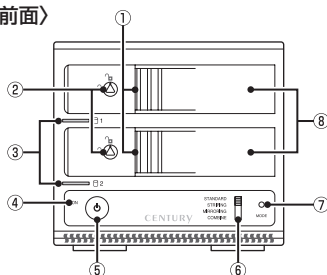
専用ACケーブル



取扱説明書/保証書

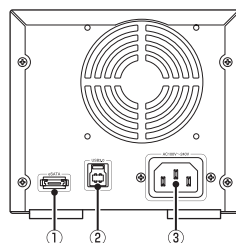
【各部の名称】

〈前面〉



- ① 取出し用ラッチ
- ② ドアロック
- ③ ステータスLED
- ④ パワーLED
- ⑤ 電源スイッチ
- ⑥ モード切替スイッチ
- ⑦ モード決定ボタン
- ⑧ フロントドア

〈背面〉



- ① eSATAコネクタ
- ② USB3.0コネクタ
- ③ ACコネクタ

【対応HDD】

■3.5インチのSATA HDD (SATA I/II/3.0/1.5Gbps/3.0Gbps/6Gbps)

- ※本製品はSATA HDD専用です。PATA (IDE) HDDは接続できません。
- ※本製品は6Gbpsに対応していますが、インターフェイス側がUSB3.0/eSATAのため、転送速度はそれぞれのホストインターフェイスの上限となります。
- ※6TBまでのHDDで動作確認を行っております(2014年11月現在)。
対応HDDの最新情報はサポートセンターにお問い合わせください。
- ※Windows XPではOSの制限により、2TBより大きいサイズのHDDを扱うことができません。

【対応OS】

■Windows

- Windows 8(8.1)/Windows 7/Windows Vista/Windows XP(32bit)

- ※Windows RT、Starter Edition、Embedded は動作対象外となります。
- ※Windows Updateにて最新の状態 (Service Pack含む) にしてご使用ください。
最新ではない環境での動作はサポート対象外となります。

■Mac

- Mac OS 10.10/10.9.5/10.8.5/10.7.5/10.6.8

※製品の性質上、すべての環境、組み合わせでの動作を保証するものではありません。

本製品からのOS起動に関して

本製品からのOS起動はサポートしておりません。



注意

- HDDの保護のために、未使用時は本製品からHDDを取り外して保管してください。
- SATA HDDの接続コネクタには、メーカーの推奨するHDDの着脱保証回数が設定されております。この回数を超えるとHDDとしての品質を保証できませんので、着脱する回数は必要最小限にてご使用ください。
- 本製品の構造上、HDDの取り付け、取り外しを行う際にHDDに傷がつく場合がございます。HDDに傷がついたり、貼付してあるラベルやシールがはがれた場合、HDDメーカーの保証が受けられなくなる場合がございます。
HDDの出し入れはゆっくりと静かに行き、必要以上に傷がつかないように慎重にお取扱ください。

【対応機種】

■USB接続

<Windows>

- USB3.0インターフェイスポートを搭載したPC/AT互換機（USB3.0モード動作時）
- USB2.0インターフェイスポートを搭載したPC/AT互換機（USB2.0モード動作時）
- CPUクロック2GHz／メインメモリ1GB以上推奨

※intelチップセット搭載モデル推奨

■ 動作確認済みUSB3.0ホストコントローラ

- Intel H87チップセット内蔵USB3.0ホストコントローラ
- Intel Z77チップセット内蔵USB3.0ホストコントローラ
- ETron EJ168 USB3.0ホストコントローラ
- FrescoLogic FL1100 USB3.0ホストコントローラ
- Asmedia Asm 1042 USB3.0ホストコントローラ
- RENESAS (NEC) μPD72020x USB3.0ホストコントローラ
- VLI VL800 USB3.0ホストコントローラ

※各ホストコントローラのドライバは最新のものをご使用ください。

<Mac>

- USB3.0インターフェイスポートを搭載したIntel Mac
- USB2.0インターフェイスポートを搭載したIntel Mac

※Power PC搭載のMacは動作保証外になります。

※USB3.0での動作は、USB3.0インターフェイスが標準搭載されているモデルのみで動作を保証します。
USB3.0インターフェイスカード経由での動作は保証対象外となります。

■eSATA接続

<Windows>

- ポートマルチプライヤー対応eSATAインターフェイスを備えたPC/AT互換機

<Mac>

- ポートマルチプライヤー対応eSATAインターフェイスを備えたMac

※Windows、Macともに、eSATA接続+STANDARDモードでHDDを2台個別認識させる場合は、eSATAホストがポートマルチプライヤーに対応している必要があります。

■ 動作確認済みeSATAホストインターフェイス

- SiliconImage Sii3132 eSATAホストインターフェイス®
- Asmedia ASM1061 eSATAホストインターフェイス

※RAIDユーティリティには対応しません。

【HDDの組み込み方法】

■HDDを接続する前に

⚠警告 •HDDを接続するまで、電源プラグはコンセントから抜いておいてください。
コンピュータの電源が入った状態で作業を行うと、感電などの事故や、故障の原因となります。

- HDD接続の際には、静電気に十分注意してください。
人体に滞留した静電気が精密機器を故障させる原因になることがあります。
作業の前に、金属のフレームなどに触れて放電するか、静電気防止バンドなどをお使いください。

■組み込みの前に

- HDDおよび本製品の基板部は精密機器ですので、衝撃には十分ご注意ください。
- HDD接続の際には、静電気に十分注意してください。
人体に滞留した静電気が精密機器を故障させる原因になることがあります。
作業の前に、金属のフレームなどに触れて放電するか、静電気防止バンドなどをお使いください。

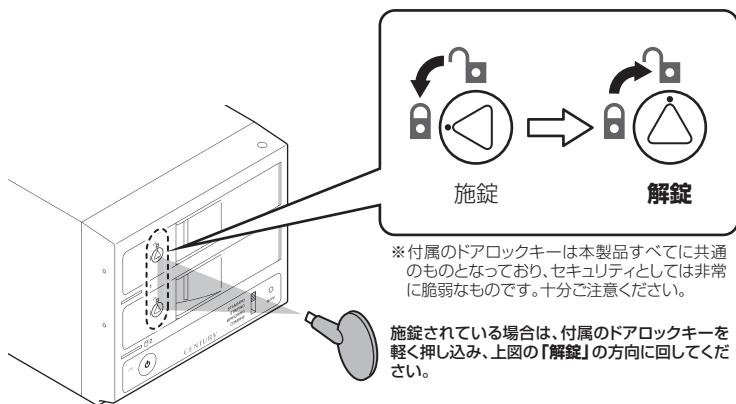
⚠注意 •フレームやHDDコネクタ、基板で手を切らないようにご注意ください。

※注意

すでにデータの入っているHDDを接続する場合は、接続時の不測の事態に備えて必ずデータのバックアップを行ってください。
また、本製品はHDDのホットスワップには対応しておりませんので、電源を入れたままのHDDの抜き差しは行わないでください。

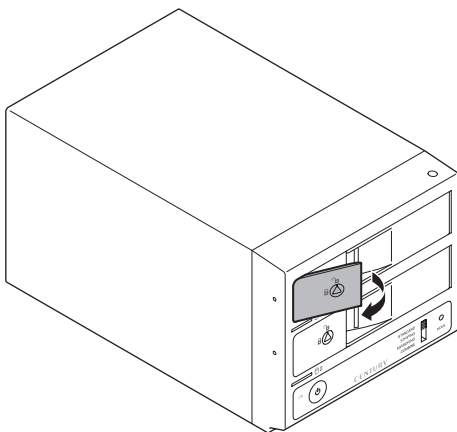
■HDDの取り付け方

1. フロントドアのドアロックが解錠状態（マーク）にあることを確認します。

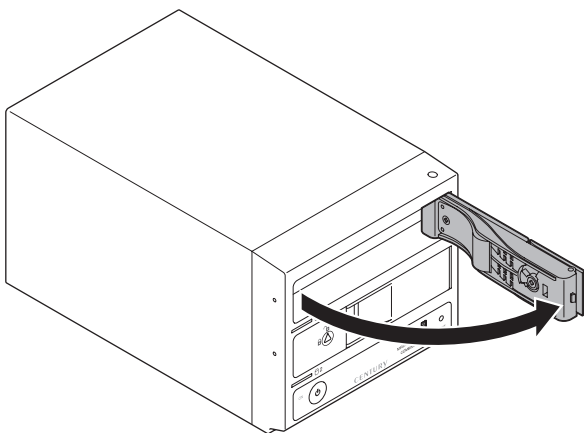


HDDやドア等、各金具の端で手を切らないようにご注意ください。

2. フロントドアの取出し用ラッチを手前に引きます。



3. フロントドアを開けます。

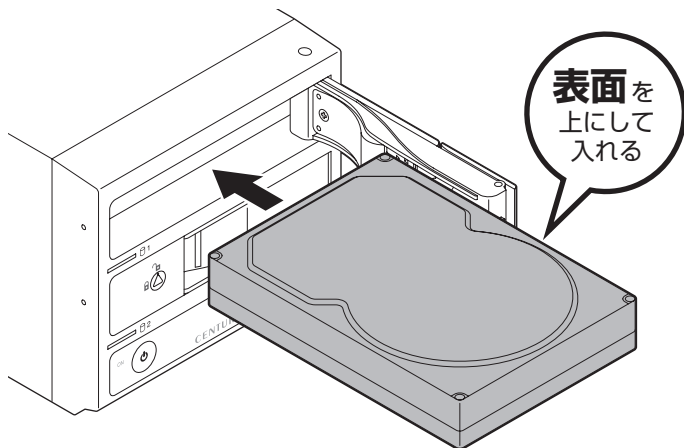


注意

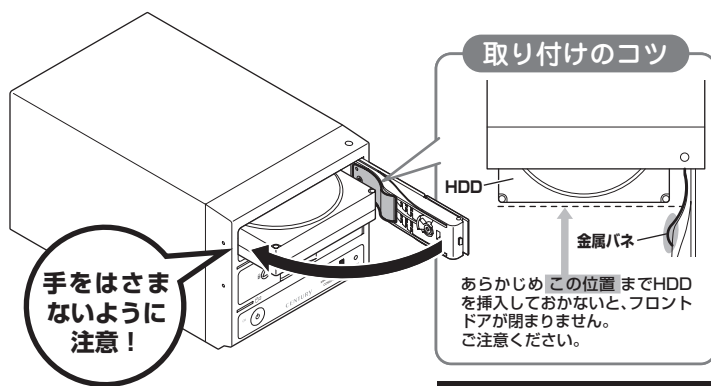
本製品のドアに手を挟んだり、本製品のフレームやHDDの基板面、コネクタ等で手を切らないよう十分ご注意ください。

【HDDの組み込み方法】

4. HDDの表面を上にして筐体内に入れ、軽く当たったところで止めます。



5. HDDがフロントドア内側の金属バネより奥に差し込まれていることを確認したら、フロントドアを閉めます。



※無理にドアを閉めないでください。故障や破損の原因となります。

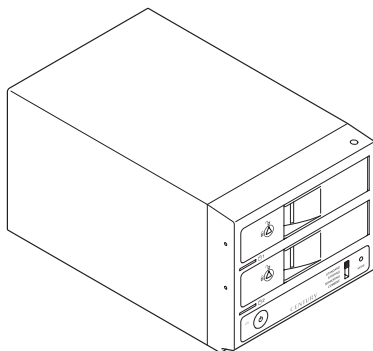


本製品のドアに手をはさんだり、本製品のフレームやHDDの基板面、コネクタ等で手を切らないよう十分ご注意ください。
また、本製品の構造上、HDDに擦り傷が付く場合があります。あらかじめご了承ください。

6. 下段も同じようにセットして完成です。

安全のため、長時間ご使用になる場合にはドアロックを施錠してご使用ください。

※付属のドアロックキーは本製品すべてに共通のものとなっており、セキュリティとしては非常に脆弱なものです。十分ご注意ください。

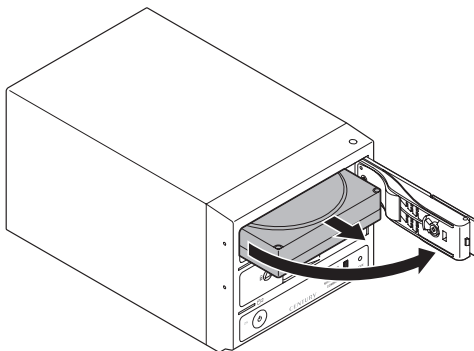


●取り出す場合は？

取り付けたときと同じようにフロントドアを開けると、中のHDDがコネクタから外れて前へ押し出されます。そのままHDDを手で引き出してください。

※ HDDを取り出す際は、必ず本製品の電源をOFFにしてから行ってください。

※ ドアはゆっくりと開けてください。HDDが飛び出したり故障するおそれがあります。

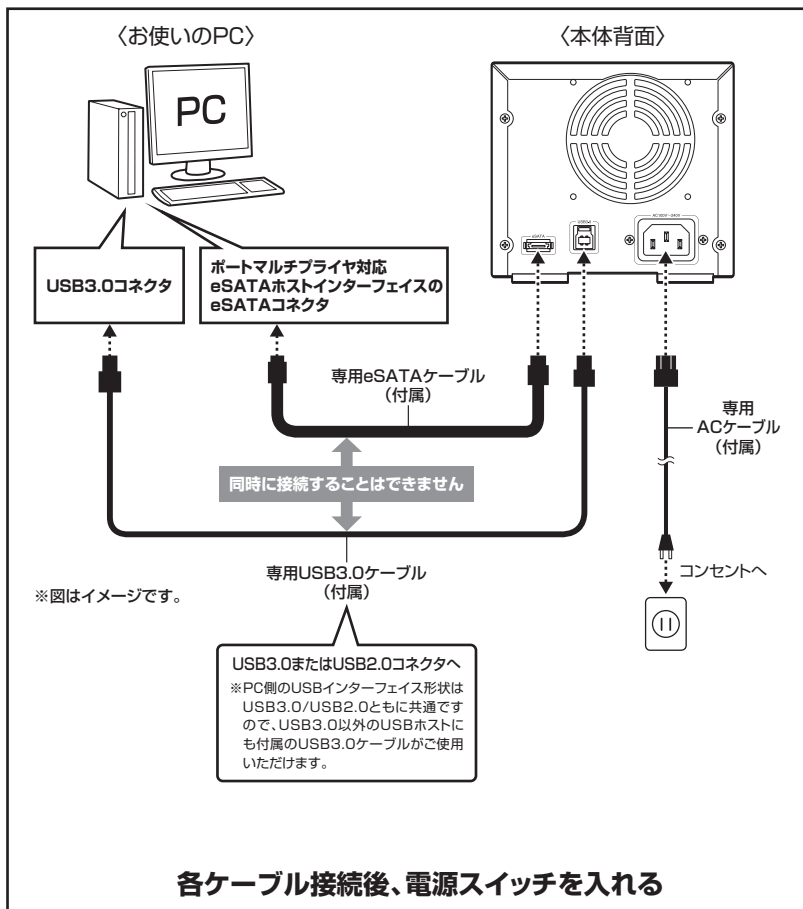


注意

本製品のドアに手をはさんだり、本製品のフレームやHDDの基板面、コネクタ等で手を切らないよう十分ご注意ください。

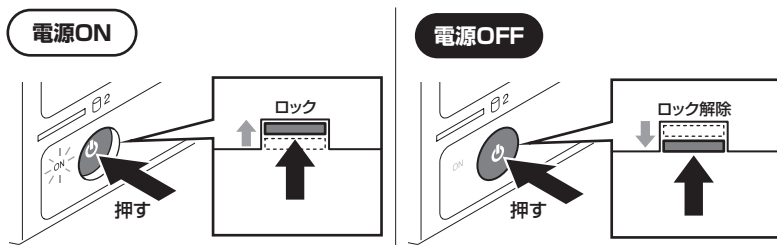
また、本製品の構造上、HDDに擦り傷が付く場合があります。あらかじめご了承ください。

【PCとの接続方法】



【電源の投入方法】

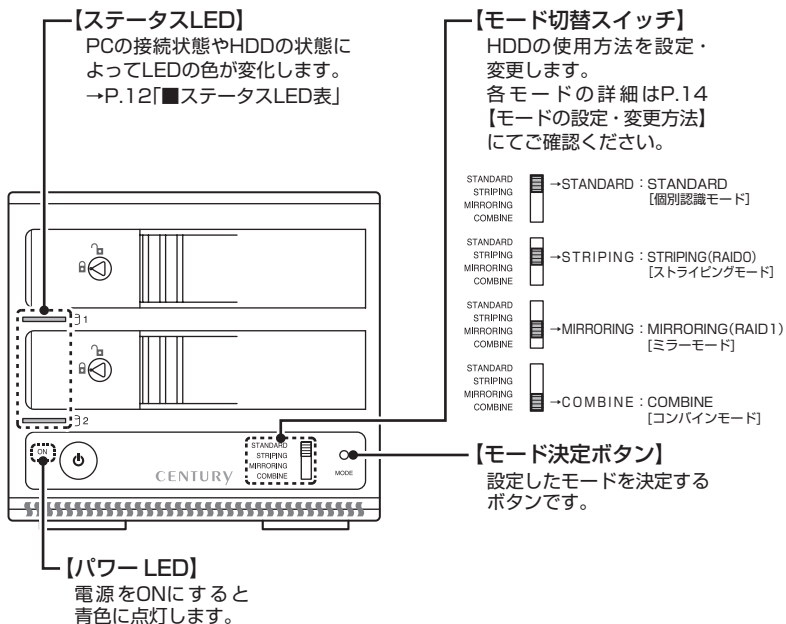
電源スイッチはプッシュロック式で、押し込むとロックされ電源がONになります。
ロックされた状態からさらに押し込むとロックが解除され、電源がOFFになります。



【使用方法】

■本体のスイッチとLEDについて

本製品のLEDは次のような動作を示します。



■ステータスLED表

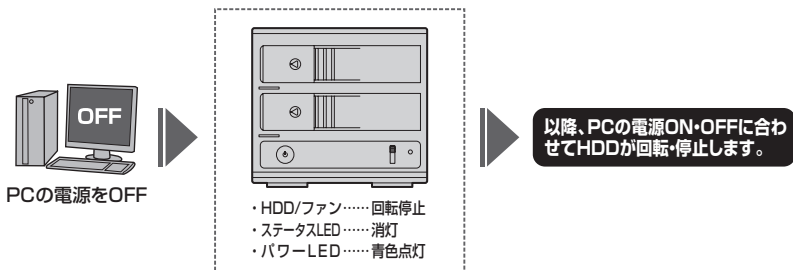
本体の動作	ステータスLEDの状態
PC未接続時	本製品とPCの接続が切り離されると両方のLEDが消灯します。
HDD未挿入	HDDを挿入していない場合、LEDは消灯します。
HDD挿入	HDDを挿入した方のLEDが青色に点灯します。
スタンダード時HDDアクセス	HDDにアクセスしている方のLEDが青色⇄ピンク色に点滅します。
ストライピング時HDDアクセス	両方のLEDが青色⇄ピンク色に点滅します。
ミラーリング時HDDアクセス	データ書き込み時：両方のLEDが青色⇄ピンク色に点滅します。 データ読み込み時：読み込み速度が速い方のHDDのLEDが青色⇄ピンク色に点滅します。
コンバイン時HDDアクセス	HDDにアクセスしている方のLEDが青色⇄ピンク色に点滅します。
HDDエラー	HDDにエラーが発生した方のLEDが消灯します。 ※エラーの発生状況によってLEDの挙動が異なる場合があります。
RAIDリビルド時(P.21)	両方のステータスLEDがピンク色に点灯します。 ※エラーの発生状況によってLEDの挙動が異なる場合があります。

【電源連動機能について】

PCの電源をOFFにすると、HDDとファンの回転が停止します。このとき、本体正面のパワーLEDは青色に点灯します。

以降、PCの電源ON・OFFに合わせてHDDが回転・停止するようになります。

※本機能を無効にすることはできません。あらかじめご了承ください。



※HDDの取り付け/取り外しを行う際は、必ず主電源を「OFF」にして行ってください。

主電源がONの状態で行うと、データが消失、または破損する可能性があります。

※本機能はPCからの信号を感知してHDDの回転を制御するため、常時3W程度の電力を消費します。

長時間で使用されない場合は、本製品の主電源をOFFにしてください。

また、本製品の電源連動機能はお使いのPCによってはご使用できない場合がございます。

その際は電源連動機能を使用せず、手動で電源ON/OFFを行ってください。

【モードの設定・変更方法】

本項では各モードの機能説明とモードの設定・変更方法を説明します。

〈各モードの機能説明〉

■STANDARD [個別認識モード]	P.15
■STRIPING (RAID 0) [ストライピングモード]	P.16
■MIRRORING (RAID 1) [ミラーモード]	P.17
■COMBINE [コンバインモード]	P.18

〈モードの設定・変更方法〉

■モードの設定方法	P.19
■モードの変更方法	P.20

ご注意！：必ずお読みください

- モードの設定・変更をする際は、必ず本製品をUSBもしくはeSATAで接続した状態で行ってください。接続していない場合、設定が正常に行われません。
ストライピング、ミラーモード、コンバインモードに変更した場合、HDD内のデータは消去され、フォーマットを行うことになります（モード変更によりHDDが故障することはありません）。
- 本製品は、STANDARD [個別認識モード] 以外で使用する場合は必ずHDDのフォーマットが必要になります。
すでにデータが入っているHDDを接続する場合は、あらかじめデータのバックアップを別メディアに取る必要があります。
また、すでにデータの入ったHDDをSTANDARDで使用する場合は、フォーマットが必要な場合があります。
- モードの設定を行った際は、必ず希望するモードに設定されているか確認後、データの保存等を行ってください。モード設定後、更にモードを変更する場合は、必ずHDDをフォーマットする必要があります。
■Windowsでのフォーマット方法→P.23
■Macでのフォーマット方法→P.37
- モード設定後、再度モードを変更する場合は、いちどSTANDARD [個別認識モード] に設定し、その後希望のモードに再度設定してください。
この手順を行わないと、正しくモードが変更されません。

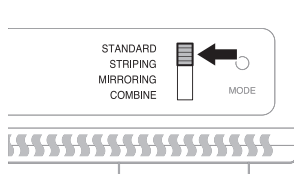
【モードの設定・変更方法】

■STANDARD [個別認識モード]

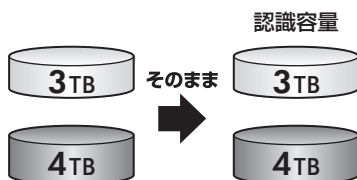
○HDDを別々に認識させます。HDD1台で使用する場合は、このモードを使用してください。

○すでにデータの入っているHDDを接続して、そのまま使用することができます。

※ダイナミックディスク形式に変換されたHDDや、特殊な領域（リカバリ領域等）があるHDDは使用できない場合があります。その際はHDDをフォーマットする必要がありますので、あらかじめご了承ください。

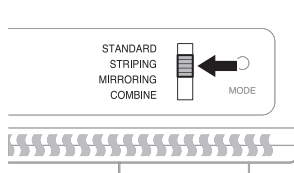


～「STANDARD」の模式図～



■STRIPING (RAID 0) [ストライピングモード]

- データを2台のHDDに分散して、読み込み/書き込みを行います。
- HDDを並列で動作させるため、高速な読み込みや書き込みが可能になります。
- 高速な代わりに、HDDのデータを保護する機能がないため、どちらか片方のHDDが故障するとデータは読み取れなくなります。
データの保護を優先したい場合は、MIRRORING (RAID 1) [ミラーモード]の使用をお勧めします。



～「STRIPING」の模式図～



注意

設定後、フォーマットを行う必要があります。すでにデータが入っているHDDを接続する場合、あらかじめデータのバックアップを別メディアに取る必要があります。また、Windows XPではファイルシステムの仕様上、2TBを超えるサイズのRAIDボリュームを作成、認識できません。

★センちゃんのRAID豆知識★

セ：どうしてSTRIPING (RAID 0) [ストライピングモード]はRAIDじゃないのにRAIDという名前がついているのラ？

→RAIDの略称のいちばん最初Redundant (余分、冗長)という言葉が表すとおり、RAIDは余分な容量を設けて信頼性を上げ、ひいてはデータの消失トラブルを防ぐためのものです。

こうした機能のないSTRIPINGがRAIDと呼ばれるのは、RAID 3以降に使われている分散書き込み技術だからであるようです。

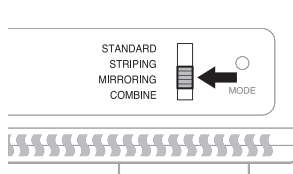
また、RAID 0は“ゼロ”なのでRAIDに満たない、という解釈もあるようです。



【モードの設定・変更方法】

■MIRRORING (RAID 1) [ミラーモード]

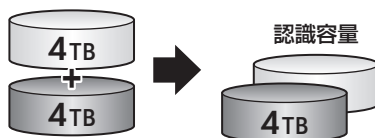
- 2台のHDDに同じデータを書き込んでデータの安全性を確保します。
- 同じ内容を2台のHDDに書き込むため、HDDが1台壊れてもデータが損なわれません。
- 転送速度はSTANDARD [個別認識モード]と同等になります。



2台のディスクに同じ内容を書き込むため、利用可能な容量は1台分になります。

※この構成ではHDDが2台必要です。

～「MIRRORING」の模式図～



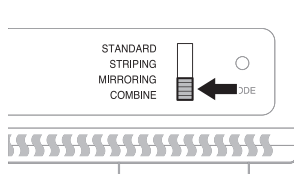
4TBのHDDを2台使用すると4TBのHDD 1台のボリュームとして認識される。



- ・設定後、フォーマットを行う必要があります。すでにデータが入っているHDDを接続する場合、あらかじめデータのバックアップを別メディアに取る必要があります。
- ・RAIDはデータの安全性を確保するための機能ですが、100%のデータ保証をするものではありません。
万が一（落雷、火災等の物理的損害、誤操作やウィルス等によるデータの改ざん、消去）に備え、重要なデータは別媒体へのバックアップをお勧めします。

■COMBINE [コンバインモード]

- 2台のHDDを連結して1つのHDDに見せかけます。
- 各HDDをつないで1つのHDDに見せかけます。
この構成に限り、異なる容量のHDDで構築してもHDDの容量が無駄になりません。
- STRIPING (RAID 0) [ストライピングモード]と異なり、HDDの転送速度は向上しません。
転送速度を向上させたい場合はRAID 0を使用してください。
- データ保護処理は行われませんので、どちらか片方のHDDが故障するとデータはすべて失われます。



～「COMBINE」の模式図～



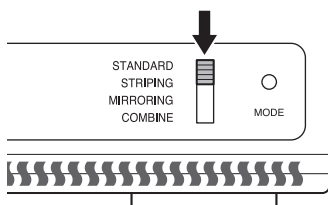
注意

設定後、フォーマットを行う必要があります。すでにデータが入っているHDDを接続する場合、あらかじめデータのバックアップを別メディアに取る必要があります。また、Windows XPではファイルシステムの仕様上、2TBを超えるサイズのRAIDボリュームを作成、認識できません。

【モードの設定・変更方法】

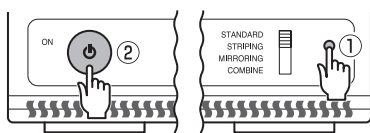
■モードの設定方法

1.



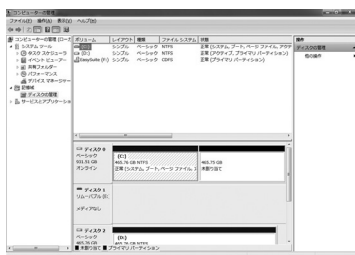
電源がOFFの状態では、モード切替スイッチを設定したいモードの位置に合わせます。(図はSTANDARD[個別認識モード]に設定する場合。)

2.



モード決定ボタンを押しながら①、電源スイッチを押し②、電源をONにします。

3.



10秒程度経ったらモード決定ボタンを離します。
PCと接続して希望のモードに変更されたか(ドライブ数、容量)を確認してください。
モードによってHDDがどのように認識されるかは、各モードの説明をご参照ください。

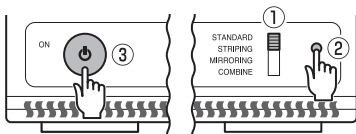
■モードの変更方法

いちど設定したモードを変更する場合は次の操作を行います。



モードの変更を行うと、HDDを必ずフォーマットする必要があります。
すでにデータが入っているHDDを接続する場合は、あらかじめデータのバックアップ
を別メディアに取る必要があります。

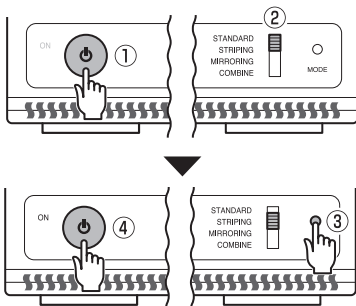
1.



電源がOFFの状態、モード切替スイッチを「STANDARD」の位置に合わせ(①)、モード切替スイッチを押しながら(②)、電源をONにします(③)。

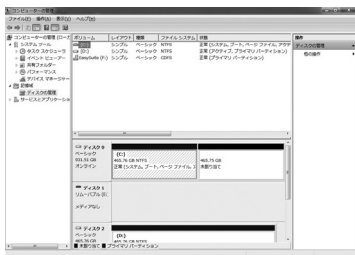
※すでにSTANDARDモードでご使用の場合は、手順2から操作を行ってください。

2.



電源をOFFにして(①)モード切替スイッチを希望のモードにセットし(②)、モード決定ボタンを押しながら(③)、電源をONにします(④)。

3.



10秒程度経ったらモード決定ボタンを離します。

PCと接続し、希望のモードに変更されたか(ドライブ数、容量)を確認してください。

変更されない場合はモード切り替えに失敗している可能性がありますので、手順2のSTANDARDモードに切り替えた際、いちどPCと接続してHDDが個別に認識されていることを確認してから、改めて希望のモードへの変更を行ってください。

【ディスクの故障とリビルド】

■ディスクの故障

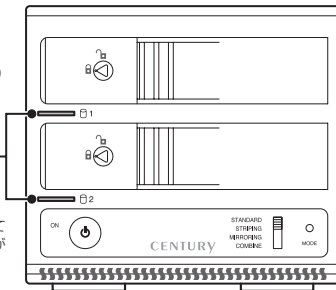
HDDの故障時、故障したスロットのステータスLEDが消灯します。
設定したモードに応じて故障したディスクの除去、交換を行ってください。

HDDが故障すると…

故障したスロットの
ステータスLED

消灯
※

※エラーの発生状況によって
LEDの挙動が異なる場合が
あります。



• RAID 1の場合

片方のHDDが故障した場合、データは保持されています。故障したHDDを交換してリビルドを行ってください。→リビルド方法 (P.22)

• RAID 0、COMBINEの場合

残念ながら、HDDが1台故障しただけでデータが失われます。故障したHDDを交換するか取り除いて、モードの再設定およびディスクのフォーマットを行ってください。

• STANDARDの場合

故障したHDDの内容は失われますが、もう1台のHDDには影響ありません。故障したHDDを取り除くか交換してください。

交換したHDDはフォーマット後、使用可能になります。



ディスクの故障に備え、重要なデータは複数媒体への多重バックアップをお勧めします。

■リビルド方法

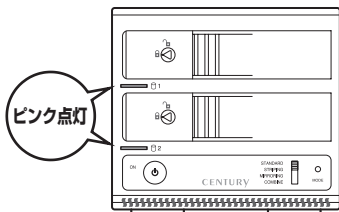
本製品の電源を切り、故障したHDDを交換したあと再度電源を投入すると自動的にリビルドが開始されます。

※リビルド開始する際は、PCと接続し、PCの電源をONにした状態で行ってください。

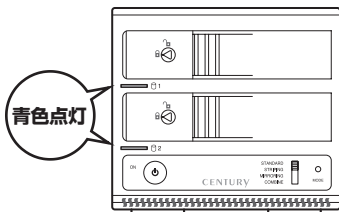
PCの電源をOFFにした状態で行うと、電源連動機能が働いてしまいリビルドが開始されません。

PCと未接続または電源をOFFにした状態でリビルドを開始してしまった場合は、PCの電源をONにするとリビルドが開始されます。

リビルド中



リビルド終了



注意

- 交換するHDDは必ず故障したHDDと同じか、より大きい容量のものをご用意ください。容量の少ないHDDを挿入するとリビルドは開始されません。
- リビルドの前、またはリビルドの途中でRAIDモードの変更を行わないでください。リビルドが正常に開始・再開されません。
- リビルド中はトラブルを避けるためにも、できる限り本製品の電源をOFFにしないでください。電源を切った場合、再度電源を入れることでリビルドが再開されます。(PCの電源がOFFの場合、リビルドが再開しませんのでご注意ください。)
- リビルド開始されるまでは、PCの電源をOFFにしないでください。リビルド開始前にPCの電源をOFFにすると電源連動機能が働いてしまいリビルドが開始されません。
- リビルド中は絶対にHDDの交換をしないでください。両方のHDDのデータを破損、消失するおそれがあります。

■リビルドする際のHDD交換位置に関して

HDDを交換する際は上下を入れ替えたりせず、必ず取り外した位置に交換するHDDを接続してください。

●リビルドの所要時間

リビルドは構築しているRAIDの容量によります。

3TB (3000GB) のRAIDを構築している場合は、リビルドの完了までに約11時間* かかります。

*弊社テスト環境での参考値です。接続しているHDDやアクセス状態によって時間が前後することがあります。

【領域の確保とフォーマット】

注意：この説明では、HDDにパーティションを分割しない設定で領域を確保する操作を説明しています。

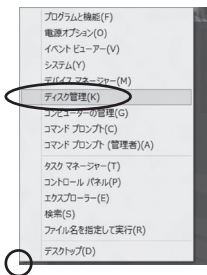
細かく分割する操作に関しては、Windowsのヘルプや参考書を参考にしてください。

※この手順どおりに処理を行うと、HDDのフォーマットを行ってHDD内に入っているデータを消去します。消したくないデータが入っている場合は、領域の確保とフォーマット処理は行わないようにしてください。

※フォーマット済のHDDと新しいHDDを混在させた場合、ドライブが多数表示され、間違えやすい状態になります。初期化を行う場合は、混乱を避けるために新しいHDDのみをセットして初期化を行うことをお勧めいたします。

■Windows 8 / Windows 7 / Windows Vistaの場合

1.



□Windows 8

画面左下を右クリックし、「ディスク管理」を開きます。

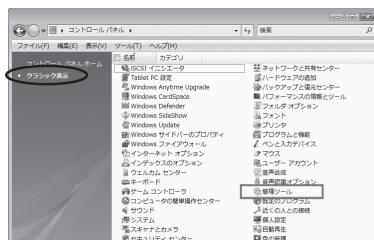
その後は手順3.に進みます。



□Windows 7

【スタート】→【コントロールパネル】→【表示方法：小さいアイコン*】→【管理ツール】を開きます。

※コントロールパネルを開いても【小さいアイコン】または、【クラシック表示】にしないと管理ツールが表示されませんのでご注意ください。



□Windows Vista

【スタート】→【コントロールパネル】→【クラシック表示*】→【管理ツール】を開きます。

※コントロールパネルを開いても【小さいアイコン】または、【クラシック表示】にしないと管理ツールが表示されませんのでご注意ください。

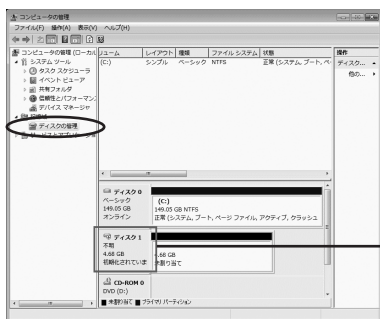
2.



【管理ツール】の中の【コンピュータの管理】を開きます。

※このとき【ユーザーアカウント制限】ウィンドウが表示されます。【続行】をクリックしてください。続行できない場合は、ユーザーに管理者としての権限がありません。システムの管理者にご相談ください。

3.



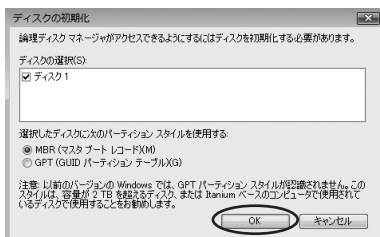
【コンピュータの管理】の【ディスクの管理】を選択すると、接続したディスクが【初期化されていません】と表示されています。そこを右クリックして表示されるポップアップメニューから【ディスクの初期化】を選択します。

ディスクの初期化(I)

プロパティ(P)

ヘルプ(H)

4.



【ディスクの初期化】ウィンドウが表示されます。

先ほど選択したディスクで間違いのないかを確認して【OK】をクリックします。

※パーティションスタイルについて

2TB以上の容量を扱う場合はGPT形式をお勧めします。MBR形式の場合、1パーティションサイズの上限が2TBとなってしまいます。

GPT形式は、Windows 2000やWindows XP等では読み書きすることができません。また、ハードウェアの仕様によって、2TBを超える容量が扱えない場合もございます。GPT形式であれば2TBを超える容量が扱えるわけではないことに注意してください。

【領域の確保とフォーマット】

5.

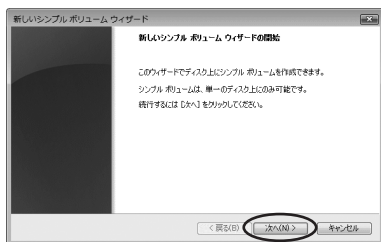


【ディスクの初期化】が完了するとディスクの状態が【オンライン】に変わります。

この状態ではまだ使用できませんので、ボリュームを作成してフォーマットする必要があります。

ディスク名の表示の右側の容量が表示されているところを【右クリック】すると、ポップアップメニューが表示されますので【新しいシンプルボリューム】を選択します。

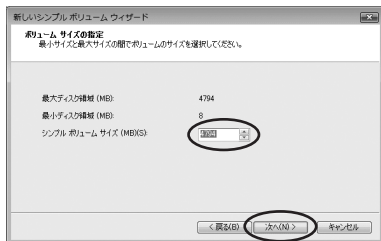
6.



【新しいシンプルボリュームウィザード】が表示されます。

設定する箇所はありませんので【次へ】をクリックします。

7.



【ボリュームサイズの指定】が表示されます。

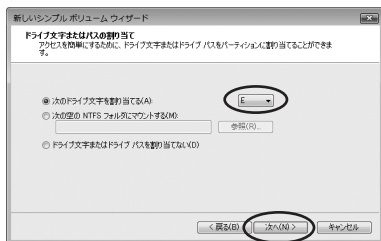
MB（メガバイト）単位でボリュームサイズを指定します。

ここで指定したサイズがパーティションサイズとなりますので、任意の数値を指定してください。

特に指定しなければ、最大容量で設定されます。

設定したら【次へ】をクリックします。

8.



【ドライブ文字またはパスの割り当て】ウィンドウが表示されます。

ドライブ文字は、マイコンピュータやエクスプローラで割り当てられるドライブのアルファベットです。

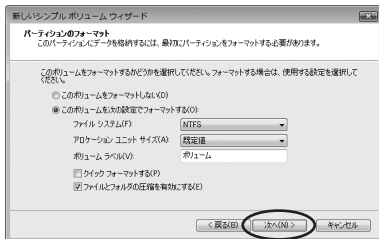
通常、Cが起動ドライブで以降アルファベット順に割り当てられます。特に指定がなければ、空いている割り当て番号のいちばん若いアルファベットが割り当てられます。

【次の空のNTFSフォルダにマウントする】と【ドライブ文字またはドライブパスを割り当てない】は通常使いませんので選択しないでください。

こちらの機能を選択する場合は、Windowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

【領域の確保とフォーマット】

9.



【パーティションのフォーマット】ウィンドウが表示されます。

- **ファイルシステム**

NTFSを選択します。他のファイルシステムは使用しないでください。

- **アロケーションユニットサイズ**

パーティションのアロケーションユニットサイズを指定します。特に使用するアプリケーション等の指定がない限り、規定値を選択します。

- **ボリュームラベル**

マイコンピュータ等から表示されるボリュームラベルを設定します。

- **クイックフォーマットする**

このチェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。

通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域をベリファイしませんので、時間がかからない代わりに、不良セクタ等の代替も行われません。

お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。

- **ファイルとフォルダの圧縮を有効にする**

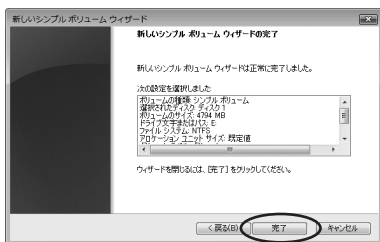
このチェックボックスを有効にすると、ファイルとフォルダの圧縮が有効になります。

通常よりも大きな容量を使用できるようになりますが、パフォーマンスの面では圧縮されていない状態よりも劣ります。

一部のアプリケーションではこの設定が推奨されていないこともありますのでご注意ください。

設定が終わりましたら、【次へ】をクリックします。

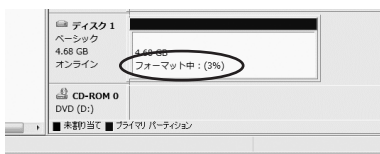
10.



【新しいシンプルボリュームウィザードの完了】ウィンドウが表示されます。

テキストボックスの設定を確認して【完了】をクリックするとフォーマットが開始されます。

11.



これでフォーマットの作業は完了です。ディスクの管理の容量表示ウィンドウには、フォーマット完了までの進行状況が表示されます。

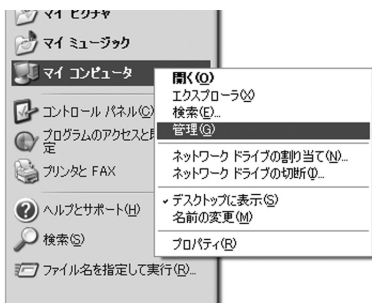
フォーマットが完了すると、マイコンピュータにディスクが表示され、使用可能になります。

【領域の確保とフォーマット】

■Windows XPの場合

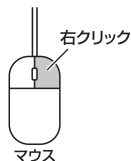
注意：フォーマットにはアドミニストレータ権限を持っているユーザでログインして行ってください。

1.

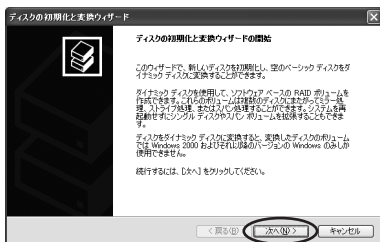


スタートメニューのマイ コンピュータを「右クリック」で開き「管理」を選択します。

「コンピュータの管理」ウィンドウが開きます。

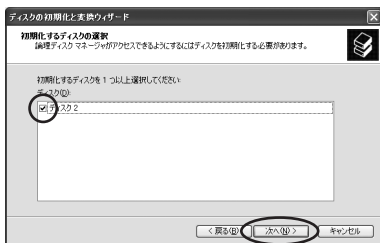


2.

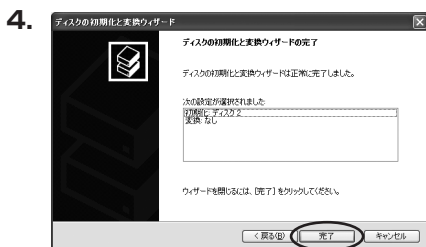


「コンピュータの管理」ウィンドウの「ツリー」の中から「ディスクの管理」を選択すると、「ディスクのアップグレードと署名ウィザード」が表示されます。「次へ」をクリックします。

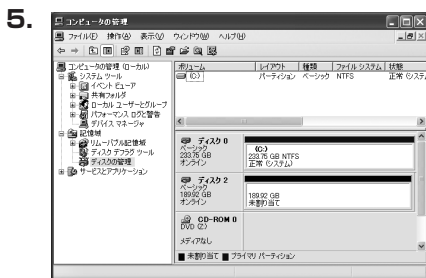
3.



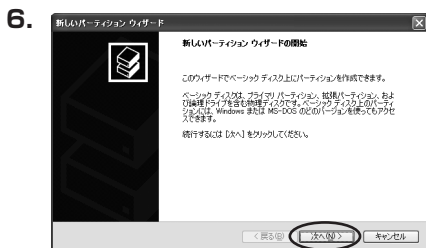
「署名するディスクの選択」ウィンドウが表示されます。署名するディスクにチェックを入れて「次へ」をクリックします。



「ディスクのアップグレードと署名ウィザード完了」ウィンドウが表示されます。「完了」をクリックしてウィンドウを閉じます。

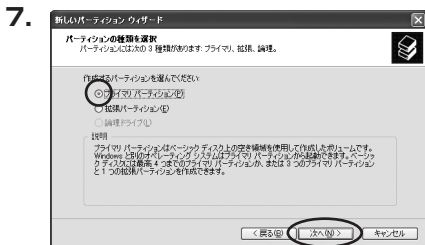


次にパーティションの作成を行います。「未割り当て」と表示され、斜線になっているディスクがフォーマットされていないディスクですので、「未割り当て」と表示されている部分を「左クリック」で選択し、「右クリック」でメニューを開き、「パーティションの作成(P)..」を選択します。



「パーティション作成ウィザード」が表示されます。「次へ」をクリックします。

【領域の確保とフォーマット】



「パーティションの種類を選択」ウィンドウが表示されます。

「プライマリパーティション」を選択して「次へ」をクリックします。

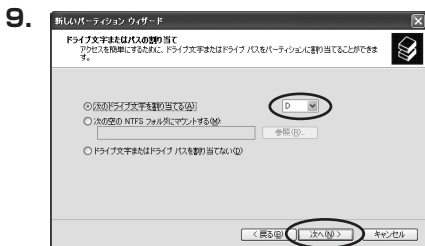
※1つのディスクを5つ以上のパーティションに分割する場合は、拡張パーティションを選択します。



「パーティションサイズの指定」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリックします。

※既定値は最大容量（1パーティション）ですが、複数のパーティションを作成するには、容量を減らし、「パーティション作成ウィザード」を繰り返して行うことで、複数のパーティションを作成することができます。



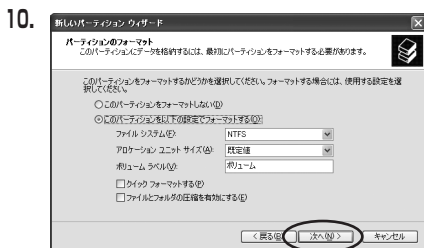
【ドライブ文字またはパスの割り当て】ウィンドウが表示されます。

ドライブ文字は、マイコンピュータやエクスプローラで割り当てられるドライブのアルファベットです。

通常、Cが起動ドライブで以降アルファベット順に割り当てられます。特に指定がなければ空いている割り当て番号のいちばん若いアルファベットが割り当てられます。

【次の空のNTFSフォルダにマウントする】と【ドライブ文字またはドライブパスを割り当てない】は通常使いませんので選択しないでください。

こちらの機能を選択する場合は、Windowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。



「パーティションのフォーマット」ウィンドウが表示されます。

このウィンドウでフォーマット設定をすることができます。

※ Windows XPでは32GBを越えるFAT32ボリュームをフォーマットすることができません。

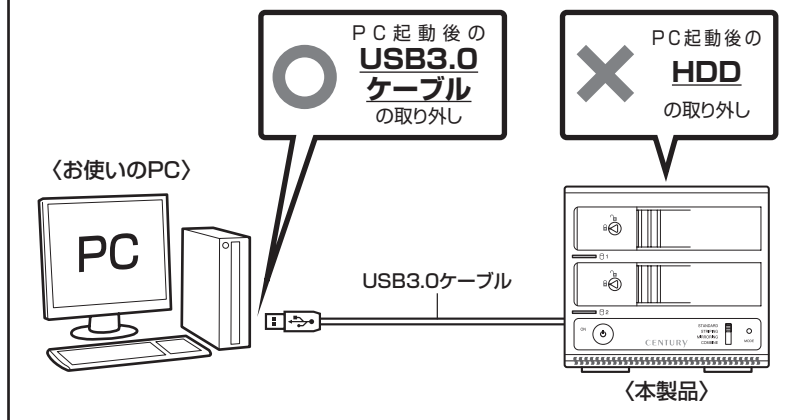
- 使用するファイルシステム
NTFSとFAT32が選択可能です。
 - アロケーションユニットサイズ
アロケーションユニットの大きさを設定します。通常は既定値のまま変更する必要はありません。
 - ボリュームラベル
「マイコンピュータ」で表示されるボリューム名です。指定しなければ既定の「ボリューム」というボリュームラベルが設定されます。
 - クイックフォーマットする
このチェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。
通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域をベリファイしませんので、時間がかからない代わりに、不良セクタ等の代替も行われません。お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。
 - ファイルとフォルダの圧縮を有効にする
Windowsのファイル圧縮機能を使用します。
ファイルを圧縮して格納することにより、実際の容量よりも大きく使用することが可能ですが、仕様のファイルの読み書き速度の低下を招くようです。
詳しくはお使いのWindowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。
- すべて設定して「次へ」をクリックします。

【ハードウェアの取り外しについて】

本製品はUSB接続時、PC起動中にハードウェアの取り外しが可能です。

※eSATA接続時のハードウェアの取り外しは、PCの電源を切った状態で行ってください。

※この項で説明する「ハードウェアの取り外し」とは、本製品とPCの接続を解除するという意味です。
RAID障害時のHDDの取り外し及び交換についてはP.21【ディスクの故障とリビルド】の項をご参照ください。
また、本製品はホットスワップには対応しておりませんので、HDDの取り付け、取り外しをする際は必ず本製品の電源を切った状態で行うようにしてください。



1. 本製品を接続すると、タスクトレイに「ハードウェアの取り外し」アイコンが表示されます。取り外す際は「ハードウェアの取り外し」アイコンをクリックします。デバイス名は以下のように表示されます。

- Windows XP…………… USB大容量記憶装置デバイス
- Windows Vista …… USB大容量記憶装置
- Windows 8/7 …… USB to ATA / ATAPI Bridge

※搭載したHDDを個別に取り外すことはできません。
あらかじめご了承ください。

2. 取り外し完了のメッセージが表示されれば完了です。
電源スイッチを切ってケーブルを取り外してください。

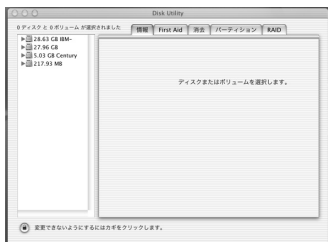
※取り外しの詳しい手順はOSにより異なりますので、お使いのWindowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照の上、作業を行ってください。
「ハードウェアの取り外し」の手順を経ずに本製品を取り外すと、HDDのデータが破損したり、消失するおそれがありますので、必ず「ハードウェアの取り外し」の処理を行ってください。

【Macでの使用方法】

Mac OS XではMac OS標準のドライバを使用します。

- ※あらかじめ Mac OS 9.xで初期化された物は、フォーマットせずに使用可能です。
Mac OS Xでのフォーマットは、OS標準の「Disk Utility」を使用します。
- ※フォーマット済のHDDと新しいHDDを混在させた場合、ドライブが多数表示され、間違えやすい状態になります。
初期化を行う場合は、混乱を避けるために新しいHDDのみをセットして初期化を行うことをお勧めいたします。

1.



「Disk Utility」を起動します。
※「Disk Utility」は、アプリケーション>Utilityの中にあります。
左側に接続されているフォーマット可能ディスクの一覧が表示されます。
本製品は、**「xxGB(HDD容量)xxxxxx(HDDのモデル名)media」**と表示されます。

これをクリックして選択します。

2.



接続されているディスクの情報が表示されます。

3.



上の「パーティション」タブをクリックします。
パーティション設定を変更できます。

- **ボリュームの方式**
作成するボリューム数を選択します。
8つまで分割して作成することが可能です。
- **ボリューム**
メディアの分割状況が表示されます。

• ボリューム情報

ボリューム情報は「ボリューム方式」で選択されたボリューム情報を変更します。
「ボリュームの方式」で別のパーティションを選択すると、パーティションごとに設定を変更することが可能です。

• 名前

作成するボリューム名を変更できます。変更しないと「名称未設定」という名前が付けられます。

•フォーマット

作成するボリュームのフォーマットを選択します。

「Mac OS標準」「Mac OS拡張」「UNIXファイルシステム」「空き領域」が選択できます。

通常は「Mac OS拡張」を選択してください。

•サイズ

作成するボリュームのサイズを変更できます。

•オプション

「Mac OS 9ディスクドライバをインストール」のチェックをするとMac OS 9で動作するドライバをインストールします。

•分割

選択されているボリュームを同じ容量で分割します。

•削除

選択されているボリュームを削除します。

•元に戻す

直前の変更を元に戻します。

4.



すべて決定したら右下の「OK」をクリックします。
警告が表示されます。

作成する場合は「パーティション」を、キャンセルの場合は「キャンセル」をクリックします。

5.



パーティションが作成され、デスクトップにマウントされます。

取り外しをする場合は、このアイコンをDockの中のごみ箱にドロップします。

【トラブルシューティング】

■認識されない

→以下の点をご確認ください。

- 接続ケーブル、ACケーブルが正しく接続されているか
- パワーLEDが正しく点灯しているか
- Windows XPで2TB以上のRAIDボリュームを作成した場合、OS側の仕様で認識されません。
Windows XPでご使用の場合は、2TB以下になるようにRAIDボリュームを作成してください。
スタンダードモードの場合は2TB以下のHDDでご使用ください。

■モードを変更しても設定が反映されない

→モードを変更する際は、本製品の電源をOFFにしてモード切替スイッチを設定したいモードの位置に合わせたあと、モード決定ボタンを押しながら電源をONにする必要があります。また、ストライピングモードやミラーモードから他のモードに切り替える際は、最初に必ずSTANDARDモードにセットする必要があります。
詳しい手順はP.20【モードの変更方法】をご参照ください。
★ご注意：モードを変更すると、HDDに保存されたデータが消去されますので、変更前に必ずデータのバックアップを取るようにしてください。

■新しいHDDをセットしたが、マイコンピュータ内(Windows)、デスクトップ(Mac)にHDDのアイコンが表示されない

→新しいHDDは接続後、領域の確保とフォーマットの作業が必要となります。
【領域の確保とフォーマット】または【Macでの使用方法】を参照して初期化の作業を行ってください。
• Windowsでお使いの場合→P.23【領域の確保とフォーマット】をご確認ください。
• Macでお使いの場合→P.37【Macでの使用方法】をご確認ください。

■転送速度が遅い

→USB2.0ホストに接続した場合、転送速度は最大で480Mbps（理論値）となります。

■USB接続時にUSB2.0として認識してしまう

→本製品の電源をONにしたままUSBケーブルを接続すると、接続するタイミングによってUSB2.0機器として認識してしまう場合があります。
本製品の電源はOFFの状態でごケーブルを接続し、電源スイッチをONにしてください。

■スリープ、スタンバイ、休止状態から復帰するとフリーズする、アクセスできない

→本製品はWindows、Macともに、スリープ、スタンバイ、休止状態に対応しておりません。
スリープ、スタンバイ、休止状態する前に取り外しを行ってください。

■2TBのHDDをコンパインで接続したのに容量が1.8TB程度になってしまう

→計算方法に違いはないか、ご確認ください。

ほとんどすべてのハードディスクドライブメーカーは、公称容量を

・1MB = 1,000,000 バイト

で計算した値で示しています。

それに対し、一般的には、

・1KB = 1024 バイト

・1MB = 1024 × 1024 = 1,048,576 バイト

・1GB = 1024 × 1024 × 1024 = 1,073,741,824 バイト

・1TB = 1024 × 1024 × 1024 × 1024 = 1,099,511,627,776 バイト

です。

たとえば2TBと表示されているドライブの場合、これを一般的なTBに換算してみると、

・2,000,000,000,000 ÷ 1,099,511,627,776 = 約1.8TB

となり、200GB程度少なくなることがお分かりいただけると思います。

このような計算方法が（ハードディスクドライブメーカーでは）一般的となっておりますので、ご理解をお願いいたします。

■リビルドに時間がかかる

→リビルドの際の平均転送速度は約75MB/秒になります。

大容量のHDDの場合、リビルド完了までに時間がかかることがありますので、あらかじめご了承ください。また、リビルド中、HDDにアクセスを行うとリビルドが中断されるため、さらに時間がかかります。

例：3TB HDDのリビルド所要時間…約11時間

※弊社テスト環境での参考値です。接続しているHDDやアクセス状態によって時間が前後することがあります。

■リビルドが完了しない

→交換したHDDに不良セクタがあると、リビルドが完了しないことがあります。ディスクチェックツールなどでエラーの有無をご確認ください。

また、リビルド中にPCの電源OFF状態で本製品の電源をOFF→ONにすると電源連動機能が働いてしまい、リビルドが中断されてしまいます。PCの電源をONにすればリビルドは再開されますが、リビルド中は本製品の電源操作は極力行わないようにしてください。

■数日おきにリビルドが繰り返される

→HDDの片方が故障しているか、異なる型番のHDDでRAID 1を構築していると、相性の問題でこのような現象が発生する可能性があります。

それぞれのHDDが故障していないかをチェックした上、別のHDDでRAID 1を組みなおすなどをお試しください。弊社ではHDDの組み合わせや相性によるトラブルは保証いたしかねます。

【トラブルシューティング】

■故障したHDDを交換してもリビルドが開始されない

→次のことをご確認ください。

- HDDの容量にご注意ください。HDDの容量が交換したHDDより少ない場合、リビルドを行うことができませんので、必ず同型番、同容量もしくは容量の大きなHDDと交換してください。
- リビルドが開始されるまではPCの電源をOFFにしないでください。リビルド開始前にPCの電源をOFFにすると本製品の電源連動機能が働いてしまい、リビルドが開始されません。いちどリビルドが開始されると、PCの電源をOFFにしてもリビルドは続行します。
- 交換するHDDが以前RAIDで使用されていた場合、HDD内のRAID情報が残っていて正常にリビルドが開始されないことがあります。この場合、次の方法で交換するHDDのRAID情報を消去してください。

★ご注意！：操作を間違えてしまいますとデータが消えてしまう可能性がありますので、重要なデータはバックアップを行ってから作業をお勧めします。

【手順】

1. 本製品の電源をOFFにし、データの入っている側のHDDを取り出します。最終的にデータのあったHDDは同じスロットに戻しますので、どちらのスロットから取り出したか必ずメモ等をお取りください。
2. 故障して交換したHDD（リビルド先のHDD）を本製品に挿入します。
3. モード切替スイッチを「STANDARD」にセットし、モード決定ボタンを押しながら電源をONにします。
4. ディスクの管理（Windows）やディスクユーティリティ（Mac）で正しく1台分の容量で認識されているかを確認し、HDDのフォーマットを行ってください。
→P.23【領域の確保とフォーマット】
→P.37【Macでの使用方法】
5. フォーマット後、電源をOFFにしてデータのあったHDDを元の位置に挿入し、モード切替スイッチを「MIRRORING」に設定して、モード決定ボタンを押しながら電源をONにします。
6. リビルドが開始されます。

■USB3.0接続時、認識が不安定になったりHDDが断続的に回転・停止を繰り返す

→USB3.0ホストコントローラのドライバが最新のものになっているかご確認ください。

■2TB超のボリュームを作成したが、フォーマットしようとする2TBで分割されてしまう（Windows 8、Windows 7、Windows Vista）

→2TBを超えるパーティションを使用する場合は、HDDの初期化形式をGPT形式にする必要があります。

MBR形式で初期化を行っていないか確認してください。

[FAQ]

Q：使用できるHDDの最大容量は？

A：1台あたり6TB(テラバイト)までとなります。(2014年11月現在)

Q：どんな形式のHDDが接続可能ですか？

A：3.5インチサイズのシリアルATA(SATA)HDDが接続可能です。
パラレルATA(IDE)のHDDは接続できません。

Q：Windows ServerやLinuxで動作しますか？

A：サポート対象のOSとしては、

●Windows 8(8.1)/Windows 7/Windows Vista/Windows XP(32bit)

●Mac OS 10.10/10.9.5/10.8.5/10.7.5/10.6.8

を対応OSとしています。

それ以外でのOSに関しては動作確認を行っており、サポート外、自己責任での範囲となります。

ドライバの提供や操作方法等をご案内できかねます。

Q：USB3.0接続時、UASP(USB Attached SCSI Protocol)に対応していますか？

A：本製品はUASPに対応していますが、3.5インチHDDの場合、HDD自体の転送速度がボトルネックとなるため大幅な転送速度向上にはなりません。

2.5インチSSDをご使用になる場合は、別途弊社製品「裸族のインナー：CRIN2535」をお買い求めいただくことで、本製品に2.5インチSSDを組み込むことが可能です。

Q：OSの起動は可能ですか？

A：OS起動についてはサポート対象外となります。あらかじめご了承ください。

Q：ホットスワップはできますか？

A：本製品はホットスワップに対応していません。HDDの取り付けや交換を行う際は、必ず電源を切った状態で行ってください。

電源を入れた状態でHDDを抜き差しすると、正常に認識しないばかりか、本製品ならびにHDDを故障させる可能性があります。

Q：着脱可能回数は何回ですか？

A：本製品に装備されているコネクタの耐久性は約10,000回となっております。
HDD側にもそれぞれ同様の耐久性が設定されておりますので、くわしい着脱可能回数はHDDの製造メーカーにお問い合わせください。

Q：電源連動機能を無効にすることはできますか？

A：本製品の電源連動機能を無効にすることはできません。あらかじめご了承ください。

Q：HDDは1台のみでも使用できますか？

A：使用可能です。

Q：HDDをあとから1台追加して使用することは可能ですか？

A：STANDARD [個別認識モード]のみ可能です。

Q：ミラーリングで使用しているHDDを、容量の大きいHDDに交換した場合、余った容量はどうなりますか？

また、段階的に2台入れ替ればRAIDボリュームの容量を大きくできますか？

A：容量の大きいHDDに入れ替えてリビルドがかかった場合、余った領域はそのまま切り捨てられ、使用することはできません。

1台目のリビルド後、もう1台のHDDを入れ替えても、いちばん最初にRAIDを構築した際のサイズが維持されます。

Q：Windows 7でドライブのエラーチェックを行うとスキャンが終了しないのですが？

A：Windows 7のみで発生する現象で、こちらに関しては制限事項となります。

Windows 8等、別の環境でスキャンを行ってください。

[FAQ]

Q: 他の機器で使用していたデータの入ったHDDを入れて、そのままデータにアクセスできますか?

A: RAIDやダイナミックディスクで使用していなかった場合は基本的にSTANDARD [個別認識モード] で使用可能ですが、以前のご使用環境によってはご使用できない場合があります。使用できない場合はフォーマットを行う必要があります。不慮の事故によるデータの消失を避けるためにも、データが入ったHDDを接続する場合は必ずバックアップをとってからの作業をお願いいたします。

Q: すでにデータの入ったHDDをMIRRORING (RAID 1) [ミラーモード] で使用することは可能ですか?

A: MIRRORING (RAID 1) [ミラーモード] に設定する際に必ずHDDのフォーマットが必要になるため、データの入った状態では使用できません。他のメディア等にバックアップを取り、本製品でRAID 1構築後にデータ移行をしてご使用ください。

Q: MIRRORING (RAID 1) [ミラーモード] で使用していたHDDをあとからデータを保持したままSTANDARD [個別認識モード] に切り替えることは可能ですか?

A: 可能です。

Q: 本製品のMIRRORING (RAID 1) [ミラーモード] で使用していたHDDを取り外して他のHDDケースに入れた場合、データにアクセスできますか?

A: 原則的には可能ですが、すべてのHDDケースでの動作を保証するものではありません。また、他のHDDケースで動作させたHDDを本製品に戻した場合の動作は保証できませんのであらかじめご了承ください。また、EXボリュームは本製品以外からのアクセスはできませんのでご注意ください。

Q: RAID 1のHDDを2台取り外して、一時的に別のHDDを入れて動作させたあと、元のRAID 1のHDDをセットしてデータにアクセス可能ですか?

A: 別のHDDを挿入するとRAID情報が破損してしまうので、できません。あらかじめご了承ください。

Q: 裸族のインテリジェントビルや別型番の裸族の二世帯住宅で使っていたRAID HDDをそのまま使用することは可能ですか?

A: 本製品と他のRAID HDDケースに互換性はありません。また、本製品のRAID HDDをそのまま他のRAID HDDケースで使用することもできません。別のメディアにバックアップを行ってからデータを移行してください。

Q: 複数のCRNS35EU3S6G間でHDDを交換して使えますか?

A: STANDARD [個別認識モード] でのみ入れ替え可能です。
RAIDを作成した場合はHDDの入れ替えは行わないでください。

Q: MIRRORING (RAID 1) [ミラーモード] 時、確実に両方のHDDにデータが書かれているか確認できますか?

A: 確認方法はありません。
書き込みを行って両方のアクセスランプが青色⇄ピンク色に点滅すればミラーリングで動作しています。

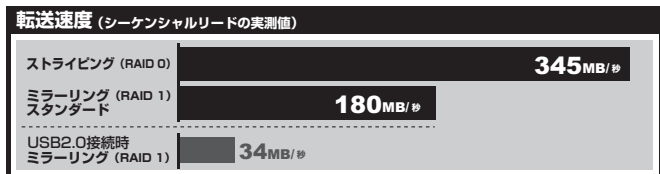
Q: HDDのS.M.A.R.T情報が正しく表示されません。故障ですか?

A: 本製品からのS.M.A.R.T取得は対応しておりません。あらかじめご了承ください。

Q: 実際の転送速度は?

A: CPUやホストインターフェイスの性能によって実測値は変わってきます。
弊社テスト環境での実測値は下図になります。

〈裸族の二世帯住宅SATA6G USB3.0 & eSATAの転送速度(実測値)〉



※弊社テスト環境での実測値となります。転送速度はご使用の環境により異なりますのであらかじめご了承ください。

ーテスト環境ー

- 使用HDD: SEAGATE ST3000DM001 (3TB)
- 使用USB3.0ホストインターフェイス: intel Z77チップセット内蔵USB3.0ホストインターフェイス
- 使用eSATAホストインターフェイス: Asmedia ASM1061
- ベンチマークソフト: Crystal Disk Mark 3.0

— 本書に関するご注意 —

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容については、将来予告なく変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
4. 運用した結果の影響については、【3.】項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはセンチュリーおよびセンチュリー指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

※記載の各会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。

※This product version is for internal Japanese distribution only.

It comes with drivers and manuals in Japanese.

This version of our product will not work with other languages operating system and we provide help support desk in Japanese only.

【販売・サポート】

株式会社 センチュリー



CENTURY

■サポートセンター

〒277-0872 千葉県柏市十^{とよ}余^{ふた}二^{おき}翁^{なは}原240-9

【TEL】04-7142-7533

(平日 午前10時～午後5時まで)

【FAX】04-7142-7525

【Web】<http://www.century.co.jp>

【Mail】support@century.co.jp

～お願い～

修理をご依頼の場合、必ず事前にサポートセンターにて受付を行ってから発送をお願いいたします。

— 弊社商品についてのご意見・ご感想をお聞かせください —

このたびはセンチュリー商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。今後の商品開発等の参考にさせていただきたいと思っておりますので、商品についてのご意見・ご感想をお聞かせください。

下記eメールアドレス、またはURLにて受け付けております。どうぞよろしくお願いたします。

【Mail】 call@century.co.jp

【Web】 <http://www.century.co.jp/support/contact/support.html>